

# 令和6年度 研修実施結果報告

- I 研修講座事業
  - 1 概要
    - (1) 研修講座改善の方針
    - (2) 研修講座の主な変更内容
  - 2 実績
    - (1) 講座数・受講者数
    - (2) 令和6年度に開催した研修講座一覧
  - 3 成果と課題
    - (1) 成果
    - (2) 課題
- II 教育研修員研修事業
  - 1 概要
  - 2 実績
    - (1) 研修員数
    - (2) 研究領域等
  - 3 成果と課題
    - (1) 長期研修
    - (2) 長期社会体験研修
    - (3) 特別研修
- III その他（出前講座による研修支援）
  - 1 実績
  - 2 成果と課題

令和7年4月24日  
群馬県総合教育センター

# I 研修講座事業

## 1 概要

群馬県教員育成指標を踏まえて研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づき、「令和の日本型学校教育」を担う教職員の資質能力の向上に資する研修を実施した。また、教育振興基本計画の趣旨も踏まえて非認知能力育成の視点に立った研修を充実させた。

### (1) 研修講座改善の方針

- 子供たちが主語となる学びの実現に向けた研修の充実を図る。
- 多様な教育ニーズへの対応とインクルーシブな社会の実現に資する研修の充実を図る。
- 教職員の学び方・働き方向上のための新たな研修の在り方の工夫を推進する。
- 教職員のフォローアップ体制の充実を図る。

### (2) 研修講座の主な変更内容

#### ① 基幹研修

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による授業改善を通して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度に加えて、感性や思いやりといった学びに向かう力、人間性等を育むような学習指導に関する講義・演習等を充実させた。
- 探究・STEAM教育の視点を重視し、児童生徒が主体的に課題を発見する力、多様な人と協働して課題を解決する力、新しい価値を創造する力を育成する研修内容を充実させた。
- 発達支持的生徒指導の積極的な推進と課題対応時の自律に向けた働き掛けを徹底し、多様性を尊重する教育体制の推進に関する研修内容を充実させた。
- 中堅教諭等資質向上研修において、共通講義とともに、受講者が自己のテーマに基づいて希望研修の必要な講義やオンデマンドコンテンツを選択するなど、キャリア段階や職務に応じて意図的・計画的に研修内容をセルフデザインできるよう工夫した。

#### ② 指定研修

- 新任副校長・教頭研修において特別な配慮が必要な子供への支援体制構築に関する研修内容を充実させたり、新任生徒指導主事研修においてヤングケアラーへの支援について早期発見及び関係機関との連携に向けた取組に関する内容の研修を充実させたりして、多様な教育ニーズへの組織的・計画的な対応を更に推進した。
- 新任校長研修において、全ての児童生徒及び教職員の可能性を引き出す学校の在り方について扱う研修内容を充実させて、エージェンシーを発揮する学校教育について考える場を設けた。
- 学校管理職対象の研修において、教員が自らの学びについて安心して相談できるような雰囲気醸成し、職場における心理的安全性を確保するため、マネジメントの視点や相手の成長を促す働き掛けなどについて講義・演習等で取り扱った。

#### ③ 希望研修

- 各教科等の研修講座において、本物に触れて誇りや愛情を育んだり探究意欲を醸成したりしながら生徒エージェンシーの向上を促進する教育活動を充実させるため、体験的な活動や

フィールドワークなどの実習・演習等を実施した。

- 「高めよう！教育課題解決能力研修講座」において、認知能力に加えて非認知能力の向上に視点を当てた教育活動について重点的に扱う講義・演習等を実施した。
- 「体育科・保健体育科研修講座」と「安全な柔道授業づくり研修講座」を統合し、「体育科・保健体育科研修講座」として実施した。
- 「高校英語科研修講座」と「小学校外国語活動・英語科研修講座」と「中学校英語科研修講座」を統合し、「英語科研修講座」として実施した。
- 「小学校生徒指導力向上研修講座」と「いじめ・不登校等問題対策研修講座」を統合し、「生徒指導力向上研修講座」として実施した。
- 「ぐんま教職員キャリアアップ研修講座」と「学校安全研修講座」を統合し、「高めよう！教育課題解決能力研修講座」として実施した。

#### ④ 公開講座

- 「SDGs の実現を目指した人材育成セミナー」において、社会との連携、協働によるESD推進のために、各地域や学校、企業等で行っている先進的な取組を知る講義内容を充実させ、学校組織としての持続可能な開発のための教育（ESD）を推進した。
- 「教師力養成講座」では、小学生から現職教員まで幅広い層の受講があった。大学生を中心に、現在求められていることを学んだりこれまでの経験を振り返りながら考えて不安や疑問を質問する場を設けたりすることで、教職の様々な魅力に気付けるよう工夫した。
- 「教員 ReStart 支援講座」では、役職定年の対象者や一定期間学校現場を離れている教員の不安感や困り感を解消するために、「群馬県教育ビジョン」や「主体的・対話的で深い学び」、「ICT を活用した授業改善」などに関わる内容を扱い、現在の教育施策が目指していることを学べるよう工夫した。

#### ⑤ その他

- 教職員一人一人の悩みや課題の把握と支援の推進
  - ・ 研修講座を通して、アンケート等から受講者の課題を担当指導主事がきめ細やかに把握し、情報提供や受講・視聴の奨励等、積極的な働き掛けにより職能成長やキャリア発達に関する支援を推進した。
  - ・ 学校固有の教育課題の解決に研修支援隊を、個々の悩みに「教職員のための相談窓口」の活用を提案するなど、困り感に寄り添った支援を推進した。

## 2 実績

### (1) 講座数・受講者数

( ) 内は令和5年度

	講座数	開催日数	研修日数	受講者数	受講対象
基幹研修	26 ( 28)	177 (194)	161 (172)	1,703 (1,663)	経験年数に応じて受講
指定研修	20 ( 21)	41 ( 42)	39 ( 41)	895 ( 911)	職種・職務に応じて受講
希望研修	41 ( 48)	121 (137)	119 (135)	1,925 (1,561)	教職員の希望者が受講
公開講座	3 ( 4)	4 ( 5)	4 ( 5)	64 ( 32)	一般県民を含む希望者が受講
全 体	90 (101)	343 (378)	323 (353)	4,587 (4,167)	

※申込数に対して重複を除外して算出している。

### (2) 令和6年度に開催した研修講座一覧

#### ① 基幹研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	幼稚園等新規採用教員研修	9	9	136
2	小・中学校初任者研修	25	13	237
3	高校初任者研修	15	15	78
4	特別支援学校初任者研修	17	17	40
5	新規採用養護教諭研修	11	11	21
6	新規採用学校事務職員研修	7	7	20
7	県立学校新規採用実習教員研修	5	5	1
8	小・中学校2年目経験者研修	2	1	180
9	高校2年目経験者研修	2	2	49
10	幼稚園等3年目経験者研修	2	2	33
11	高校3年目経験者研修	3	3	44
12	特別支援学校3年目経験者研修	5	5	45
13	学校事務職員3年目経験者研修	4	4	11
14	小・中学校4年目経験者研修	4	3	197
15	幼稚園等5年経験者研修	2	2	26
16	小・中学校6年目経験者研修	4	4	204
17	高校6年目経験者研修	5	5	40
18	特別支援学校6年目経験者研修	5	5	43
19	養護教諭6年目経験者研修	4	4	15

20	県立学校実習教員6年目経験者研修	3	3	0
21	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	9	9	9
22	小・中学校中堅教諭資質向上研修	10	8	148
23	高校中堅教諭資質向上研修	8	8	81
24	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	8	8	25
25	中堅養護教諭資質向上研修	7	7	15
26	県立学校中堅実習教員資質向上研修	1	1	5
合計	<b>基幹研修（26講座）</b>	<b>177</b>	<b>161</b>	<b>1,703</b>

② 指定研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	新任幼稚園等園長研修	2	2	5
2	新任校長研修	3	3	124
3	新任副校長・教頭研修	3	3	152
4	新任事務長研修	2	2	18
5	新任幼稚園等副園長・教頭研修	1	1	7
6	新任特別支援学校部主事研修	2	2	8
7	新任教務主任研修	1	1	24
8	新任生徒指導主事研修	1	1	57
9	新任進路指導主事研修	1	1	18
10	新任学年主任研修	1	1	69
11	新任高校特別支援教育コーディネーター研修	1	1	13
12	新任事務長代理・副主幹研修	2	2	6
13	新任事務主任研修	3	3	16
14	特別支援学校新任者研修	2	2	17
15	特別支援学級新任者研修	8	7	112
16	通級指導教室新任者研修	3	3	43
17	県立学校公仕研修	2	1	74
18	新任特別支援学校主任寄宿舎指導員研修	1	1	3
19	特別支援学校寄宿舎指導員研修	1	1	63
20	キャリア教育実践研修	1	1	66
合計	<b>指定研修（20講座）</b>	<b>41</b>	<b>39</b>	<b>895</b>

③ 希望研修

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	国語科研修講座	1	1	56
2	算数・数学科研修講座	2	2	41
3	社会科・地歴公民科研修講座	3	3	20
4	理科研修講座	3	3	55
5	音楽科研修講座	1	1	43
6	図画工作科・美術科研修講座	2	2	54
7	体育科・保健体育科研修講座	2	2	23
8	技術科研修講座	1	1	11
9	家庭科研修講座	1	1	24
10	共通教科情報研修講座	4	4	10
11	道徳科研修講座	1	1	37
12	小学校プログラミング教育研修講座	3	3	14
13	英語科研修講座	1	1	77
14	教務主任研修講座	1	1	39
15	保健主事研修講座	1	1	20
16	学年主任研修講座	1	1	40
17	研修主任研修講座	1	1	39
18	進路実現をサポートする教科指導力向上研修講座	5	5	18
19	幼児教育と小学校をつなぐ研修講座	1	1	83
20	健康教育研修講座	11	11	83
21	学校事務職員スキルアップ研修講座	8	8	132
22	専門性を高める学校図書館担当職員研修講座	1	1	23
23	見る・触れる・体験する環境教育研修講座	1	1	11
24	高校専門教育研修講座	8	8	42
25	ICT スキルアップ研修講座	10	10	93
26	理科実習教員研修講座	1	1	7
27	誰もが学びやすい小・中・高等学校を目指す研修講座	3	3	109
28	視野が広がる！特別支援教育研修講座	2	2	121
29	心理検査研修講座	1	1	63
30	生徒指導力向上研修講座	4	4	48
31	外国人児童生徒等教育研修講座	3	3	40
32	食育研修講座	1	1	8
33	高めよう！教育課題解決能力研修講座	3	3	31
34	生成 AI 基礎講座	2	2	106
35	中学校免許外教科担当教員研修講座	1	1	12
36	異職種異動に伴う高校教科指導力向上研修講座	9	9	1
37	高校・特別支援学校臨時的任用教員及び非常勤職員研修講座	1	1	29

38	教育相談初級研修講座	7	5	117
39	教育相談中級研修講座	6	6	57
40	ゲートキーパー養成研修講座	1	1	31
41	教育相談実践充実フォローアップ講座	2	2	57
合計	希望研修（41 講座）	121	119	1,925

#### ④ 公開講座

No.	研修講座名	開催日数	研修日数	受講者数
1	SDGs の実現を目指した人材育成セミナー	1	1	20
2	教師力養成講座	2	2	41
3	教員 ReStart 支援講座	1	1	3
合計	公開講座（3 講座）	4	4	64

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- 初任段階から研修の連続性や経験年数の段階性を踏まえながら、教科指導や学級経営等の課題解決を図り、実践的指導力を高めていくことができた。
- 初任者及び新規採用職員研修において、アイスブレイクやペアでのリフレクションなどを積極的に取り入れて、同期同士の横のつながりを深めながら年間の研修を積み重ねたことにより、協議・演習等から得られる学びが充実し、効率的・効果的に研修内容を習得することができた。
- 中堅教諭等資質向上研修において、受講者に自己のテーマに基づいて希望研修の必要な講義やオンデマンドコンテンツを選択させることにより、学びの自分事化や喜びを実感することができた。
- 指定研修において、受講者の置かれた立場・役割に応じた講義や協議を組み合わせることで、学校現場での職務で活用しやすい研修を提供することができた。
- 各教科等の希望研修においては、調査官・教授等からの先進的な情報提供や提言、問いを受けて、演習・協議で理解を深めたり活用力を高めたりすることができた。
- 希望研修では多様なニーズに対応できるよう、国・県の主な教育課題を網羅しながら豊富な内容を取り揃え、受講者の強みを伸ばして専門性を高めたり、悩みや課題解決のヒントに気付かせたりすることができた。
- 公開講座「教師力養成講座」「教員 ReStart 支援講座」においては、教職の魅力を発信するとともに、不安感に寄り添うことで解消を図り、新たに又は再び教職に就く人材の掘り起こしと意欲の向上につなげることができた。

#### (2) 課題

- 社会が目まぐるしく変化する中でも、時代に即した教職員の着実なキャリア形成を推進するため、「群馬県教員育成指標」に加えて、「群馬県教育ビジョン」と研修内容の関連性も高めていく必要がある。

- 研修講座の中での見取りや受講後のアンケートを通して、受講者の実態をきめ細かく把握し、学校現場での不安や困り感、課題等を解消できるよう支援する必要がある。
- 「子供が主語となる学び」「非認知能力の育成に焦点を当てた学校教育の改善」「新たな教師の学びの姿」等の係研究の成果を研修講座に反映できるよう、研修デザインや内容を工夫していく必要がある。
- 教職員の体系的・計画的・自律的な学びへの支援として、センターWebサイトが活用しやすいものとなるよう、研修・学習コンテンツを絶えず整理・更新し続けるとともに、新設する係研究のページの内容を充実させ最新の取組状況を提供していく必要がある。
- ウェルビーイングが重なり合う共生社会の実現に資する研修を充実させるため、特別支援教育、不登校児童生徒への支援、性的マイノリティへの対応、外国人児童生徒等への教育等、テーマごとの研修内容をバランスよく網羅していく必要がある。
- 「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」について、積極的な周知や啓発を図り、自己課題に基づく研修講座の積極的な受講に結び付けていく必要がある。



## II 教育研修員研修事業

### 1 概要

教員の資質能力の向上を図るために、教育の今日的課題の解決や実践的指導力の向上を目指した研究、及び長期社会体験による研修を行い、優れた識見と指導力を身に付けた教育活動の推進者を育成した。長期研修、長期社会体験研修、特別研修の3種類の研修を実施した。

<研修別基本方針>

区 分	基 本 方 針
長 期 研 修	本県の教育課題を踏まえた研修を通して、実践的な指導・助言力を高めるとともに、研究協力校や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
長期社会体験研修	企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。
特 別 研 修	授業・保育実践を通して、教科等の指導力を高めるとともに、研究協力校や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

### 2 実績

#### (1) 研修員数

	幼稚園	小学校	中学校	義務教育 学 校	中等教育 学 校	高等学校	特別支援 学 校	合計
長期研修	0	11	7	0	0	2	1	21
長期社会体験研修	0	1	0	0	0	2	0	3
特別研修	1	14	7	0	1	8	1	32
計	1	26	14	0	1	12	2	56

#### (2) 研究領域等

##### ① 長期研修の研究領域

研究領域	人数
非認知能力の育成を図る教育課程、教育活動の工夫	3
児童生徒が自らの学びをつくる学習活動への転換	4
I C T活用による教育イノベーションの推進・学校のD X化	2
共生社会の実現に向けた教育の推進	2
豊かな人間性を育む生徒指導、教育相談の在り方	2
子供が資質・能力を発揮する架け橋期の教育の在り方	1
教員の資質向上、教職の魅力向上に関わる調査研究	2
日本語指導スーパーバイザー (JSV)	5

② 長期社会体験研修における研修先企業

研修先企業	人数
群馬ヤクルト販売株式会社	1
株式会社ヤマト	1
株式会社ミツバ	1

③ 特別研修の研修領域

研究領域	人数	研究領域	人数
国語	5	農業	1
社会、地歴、公民	4	工業	1
算数、数学	3	商業	1
理科	2	道徳	1
音楽	2	特別活動	3
図画工作、美術	1	幼児教育、幼少連携・接続	1
体育、保健体育	1	特別支援教育	2
外国語、外国語活動	2	生徒指導、教育相談	2

3 成果と課題

(1) 長期研修

① 成果

- 2 (2) ①に掲げた各研究領域のチームに 21 名の研修員が所属し、それぞれの研究協力校において課題解決に向けた実践を行った。その結果を整理し具体的な提言を行うなど、群馬県教育ビジョンの趣旨を踏まえた教育課題の解決に大きく貢献した。
- 当センターにおける研修講座や検討会の運営に参画し、研究協力校の校内研修や若手教員に対する O J T 等に積極的に携わることなどを通して、研修員の指導・助言力を高めることができた。

② 課題

- 国・県の教育課題の解決に向けて、教育課題別の領域に焦点を当てたチーム研究をより一層推進するとともに、研究成果を県内の事務所や学校等へ広く普及し活用を促していく必要がある。

## (2) 長期社会体験研修

### ① 成果

- 企業等における1年間の研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高め、本県のキャリア教育の中核的な役割を担うのに必要な知見を得ることができた。
- 企業等での研修を生かした研究協力校における授業実践や職員研修、研修成果をまとめた「キャリアダイアリー」の発信など、県内のキャリア教育の推進に寄与することができた。

### ② 課題

- 本県のキャリア教育の更なる充実のため、実践内容や「キャリアダイアリー」の活用を一層推進していく必要がある。

## (3) 特別研修

### ① 成果

- 子供にとって学ぶ必要感のある単元・題材構想を練り、「指導案検討、模擬授業、授業（保育）実践、リフレクション」を繰り返しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ることで、教科等の指導力を高めることができた。
- 授業公開や実践成果の発信を通して、研究協力校や地域の教職員の教科等の指導力向上に寄与することができた。

### ② 課題

- 単元・題材構想の検討や実践授業の検証を一層充実させ、教科等の指導力を更に高め、より質の高い授業を普及していく必要がある。

### Ⅲ その他（出前講座による研修支援）

#### 1 実績

各学校園、教育委員会や研究所等からの要請を受けて、各種研修会などに指導主事を「研修支援隊」として派遣し、授業研究会での指導助言やワークショップ等の研修支援を行った。令和6年度より「つなぐん・つなサポ支援」による教育相談支援も加わった。参加した教職員の総数は2,297名であった。

分類	件数
幼児教育	0(0)
授業改善	18(25)
生徒指導・教育相談	116(2)
特別支援教育	17(9)
情報教育	9(5)
学校・学級経営	7(2)
その他	10(2)
総計	177(45)

対象（校種等）	件数
幼稚園等	0(0)
小学校	77(15)
中学校	63(6)
義務教育学校	1(0)
高等学校	12(10)
中等教育学校	0(0)
特別支援学校	12(5)
教育委員会等	12(9)
総計	177(45)

地域等	件数
中部教育事務所管内	55(9)
西部教育事務所管内	29(4)
吾妻教育事務所管内	10(0)
利根教育事務所管内	12(2)
東部教育事務所管内	44(16)
県立・組合立学校	23(14)
その他	4(0)
総計	177(45)

※（ ）内は令和5年

令和6年度は「つなぐん・つなサポ支援」を含む

#### 2 成果と課題

- 新たに「つなぐん・つなサポ支援」が始まり、各学校園への教育相談支援の充実を図ることができた。ICTや教育データの活用に関する研修では、生成AIの活用やデジタル教材の効果的な活用に焦点を当て、授業や校務の改善を提案することができた。また、学びの個別最適化や協働的な学びの推進に関する研修の要望も多く、各学校園のニーズに応じた支援を提供することができた。研修支援を通じて、県全体の教育改革に取り組むことができた。
- 各学校園からの要望は多岐に渡る。研修の充実のためには、日々更新される国や県の最新の教育動向の理解とともに、各学校園の正確な実態の把握に努めることが求められている。